

今月はトピックがあり過ぎて何から書いていいのかわかりません。なので、先月のレポートで前触れした DELF のトピックから書いていきたいと思います。

DELFL とは簡単にいうと英語の TOEIC にあたるものです。英検のような仏検は日本で受験したのですが、国際的に有効な証明書を取得したく、受験することを決めました。まず、口頭試験を受けてみて思ったことは、フランス語力とともに、対応力と自分の考えを話す力が必要ということです。試験は3つのパートがあり、①自己紹介、②ロールプレイ（与えられたテーマと役になりきって、試験官と会話をする。今回は、空港で預けた荷物が見つからないというテーマで、私は荷物を探している人、試験官が空港の人という役だった）③与えられたテキストを基に自分の考えをプレゼンする、という流れです。すべてのパートで試験官からいくつかの質問を受けます。試験の内容を見てわかる通り、フランス語能力があっても試験官からの質問やロールプレイに対応できなければ、話すことができず、フランス語を理解していないことになってしまいます。逆にいえば、日常で考えていることをよく話していれば何も難しいことはありません。私の場合、パート3での与えられたテキストが全然理解できず、理解できた単語だけで勝手に文章を想像し、自分の考えを作りました。案の定、問われていたことと違っており、プレゼン後に試験官がテキストの筆者はこう言ってたんだよと説明してくれました。やってしまった、と思いましたが、とりあえず頑張って話したので点をくれることを願っています。結果は帰国するまでにもらえるので受かっていればいいなと思います。

### Noel (クリスマス)

クリスマスの話題なしに12月のレポートは作れません。フランスでクリスマスは壮大な行事でクリスマスが近づくと街中がクリスマス模様になりいたるところでクリスマスマーケットが開催されています。日本では恋人と過ごすのが一般的で、ケンタッキーを食べたりもしますが、そのことをフランス人に伝えるとすごく驚かれます。日本で例えるならお正月に恋人とケンタッキーを食べるのが当たり前といったところでしょう。フランスではみんな家に帰省し家族で過ごすのが伝統なのです。

前回留学していた時のホストファミリーが、あなたは家族なのだからクリスマスは家に帰ってきなさい、と言ってくれ、今年のクリスマスはフランスの家族の家に行くことになりました。そして、なんと、クリスマス期間に日本からお母さんとおばあちゃんがフランスに遊びに来ることになり、今年のクリスマスは、フランスで日本の家族とフランスの家族と過ごすという夢のようなクリスマスを迎えました。ホストファミリーは「あなたが家族なのだからあなたの家族も私たちの家族よ」とクリスマスに招待してくれ、会うことをとても楽しみにしてくれました。私もとてもうれしかったのですが、ホストファミリーの中で、ホスト

シスター以外はみんな日本語が話せないし、お母さんとおばあちゃんも全くフランス語を話せないため、どうなることやらと少し心配をしていました。しかし、さすが私の家族たちです。通じなくとも、お互いの言語を話し、通じ合っていないくとも、通じ合っていました。ゆっくり話したところで理解できるはずのないフランス語を母と祖母に話すホストマザーと、一生懸命日本語で伝えようとする祖母は最後にはとても素敵な友達になりました。幸いにもホストシスターとシスターの彼女が日本語を勉強しており、たくさん日本語で話してくれたので母と祖母も困ることなく最高に楽しめたことに本当に感謝しています。



フランスでのクリスマスはすでに一度経験していますが、今年もやっぱり壮大でした。20時ごろから前菜が始まりましたが、ケーキが出るころには日をまたいでいて、パーティーが終わったのは朝の4時ちかくでした。フランスらしく、たくさん食べて、話して、飲んで、あっという間に時間が過ぎました。ホストマザーは、母と祖母にいろんなものを食べてほしくて、すべての料理を次から次へと勧め、勧められたらもらってしまう母と祖母。ご飯の長さを知っている私は、これからチーズとデザートって続くけど大丈夫なのかと心配でした。ホストファザーはこんなにお酒が飲めない人間が理解

できないのでしょう。母と祖母にシャンパンを進めるも、全くグラスの中身が減らず困っていました。私にとっては、会話や行動のやり取りすべてが面白く楽しかったです。次はフランスの家族が日本に来て、またみんなで過ごしたいなと思いました。



### ワールドカップ in フランス

フランスだから盛り上がっていたのか、今年のワールドカップが盛り上がっていたのか、ともかくこちらは大盛り上がりでした。寮には、ひとつ、共有のテレビがあり、それぞれの国の試合がある時に集まり観戦されていたのですが、決勝に近づけば近づくほど人が増え、部屋にいても、音が聞こえるほどでした。特にモロッコの試合のときは今誰かがシュートを決めたのが試合を見てなくても騒音から予想できるくらいでした。(サッカーの話でないけれど、モロッコ戦がある時の街の乱れや盛り上がりから、フランス人のモロッコ系の人の割合がものすごく多いことを知り、その数に驚きました。普段は街の人の国籍など知ることがないけれどワールドカップでそれが明らかになっていました。)

そして決勝戦、フランス対アルゼンチン、友達に誘われ近くスタジアムに観戦しに行くことになりました。「試合は16時からだよ！スタジアムは14時から開くから、12時半に出発しよう」と連絡が来ました。そんなに早く行ってどうするんだ(笑)、「14半に出発」の書き間違えだろ、と思いました。日本でもサッカーに無関心だったワールドカップ初心者に



は決勝のスタジアムの大混雑が想像できなかったのです。絶対早すぎるよ、  
と思いつつも友達の言うことを聞いて正解でした。到着してから、スタ  
ジアムの列はどんどん長くなり、そこに来るまでのトラム（路面電車）も  
東京の満員電車のようにになっているのが見えました。

試合開始のずっと前から常に飛んで歌って叫んでが続いていたので、みんなの体力を疑うほどでし  
た。延長+PKの大きな試合になりましたが、最終的にはアルゼンチン  
が勝利をおさめたため、帰りは安心して帰ることができました。街や  
交通機関は多少の乱れはありましたが、待機していた街中の警察も仕  
事があまりなさそうでした。今までで一番のワールドカップ観戦にな  
り（今までの観戦経験がないけれど）、連れていってくれた友達と素晴  
らしい試合に感謝しています。



### その他

すでに 2 ページに収めることができず、期間もギリギリで、今から短く編集し書  
きなおすすめも不可能なため、写真とともにその他の出来事を少し紹介します。

学校のプログラムでコルマールとカイザスベルグに行ってきました。クリスマスのデコレ  
ーションとマーケットが次元を超えてかわいかったです。



クリスマスマーケットと言えばホットワインが有名で、初めて白ワインのあたたかいのを試し  
ました。ワインのカップもコルマールのオリジナルデザインになっていて、かわいかったので  
お土産に持って帰りました。（夏のレポートのときに書いたが、カップは再利用で飲み終わってお店に返すとお金が戻ってくるシステム。）



2022 年最後の授業、クラスみんなでごはんを持ち寄り、カ  
ラオケをしたりみんなでごはんを食べたりしました。いつも  
仲良くしているナイジェリアのお友達とよくナイジェリア  
の料理と一緒に作っていたので、この持ち寄りのときにも  
pufpuf とナイジェリアのミートパイを作りました。フランス

に来て様々な国籍の人と仲良くなれるのは語学学校のうれしいところです。

12 月も楽しいことがたくさんで一瞬で時間が過ぎました。あと一か月しかないと思うと本  
当に早いですが、あと少しの時間大切に過ごしたいです。